愛知淑徳大学 福祉貢献学部
福祉貢献学科子ども福祉専攻
准教授
村上 明子

随想

子どもたちの笑顔とともに

AS保育室は2010年に長久手キャンパス11号棟1階に設置され、学内関係者の子どもたちの保育を担ってきました。2013年に新築移転し、2015年には長久手市から認可を受け、事業所内保育事業として地域の子どもたちも受け入れ新たなスタートを切りました。保育室はキャンパスの静かな場所にあり、鳥のさえずりや風の音などの自然と子どもたちの声が調和し穏やかな空気に包まれています。

私は約40年の保育現場経験を経て、昨年度より子ども福祉専攻の教員およびAS保育室の室長を務めています。専攻では、保育室と連携した多様な学びの機会を設けています。例えば、学生の合奏やオペレッタを見学する、模擬保育室での保育実践に子どもたちが参加するなどです。特に2年次後期の教育実習Ⅰの準備学習として行う観察実習は、学生が保育を観察し、子どもと直接関わることで、観察の視点や保育者の援助、環境構成について実践的に学ぶ場となっています。学生からは「講義で学んだ発達段階などがよく理解できた」との声もあり、乳幼児に接する機会が少ない学生にとって貴重な体験となっていることを実感しています。

身近に保育現場があることは、学生にとって大きな強みです。保育室は学生ボランティアの受け入れも行い、資格取得を目指す学生にとって実践的な学びの場となっています。今後も学部・専攻と連携し、より良い学びを提供できるよう、保育室の活用を積極的に進めていきたいと考えています。

